

体育祭が行われました！！

本校の体育祭は、毎年高校2年生が種目やルール決め、審判、得点などすべての企画・運営を行います。今年度は、中1と高2の合同競技を取り入れたり、サプライズ競技を取り入れたりと参加者だけでなく、みんなが楽しめるよう工夫していました。

準備はとても大変だったようですが、終えた後の満足感は大きかったようです。今号では、高2の行事ノートより感想を紹介いたします。



今年の体育祭は、本当に楽しかったです。昨年から準備をはじめ、ルールの変更や選手登録、予行練習など、頭をかかえることは何度かありましたが、当日何もかもスムーズに動いているグラウンドを見て、今まで色々と考えつくしてきた甲斐があったな、と実感しました。また、今年の体育祭では、私は特別な体験をたくさんさせて頂きました。役員の子との絆は深まったし、廊下を歩けばいつも誰かが声をかけてくれたし、部活の仲間は、私は部活を休んでばかりだったにも関わらず応援してくれました。当日開会式の吹奏楽部の演奏が始まった時は、鳥肌とはまた違うゾワっとしたものを感じました。生徒宣誓の後のみなさんからの拍手を背中を受けている時は誇らしい気持ちを感じ、最後に壇上に立って全校生徒を前に喋った時は実行委員になって本当によかったなと思いました。

よく色々な人に「大変だったよね。」と言われますが、私はとても楽しかったのもう一回くらい体育祭をやりたいです。こんな風に思えるほど素晴らしい体育祭と一緒に支えてくれた係の人、支えてくれた先生方、すべての方に感謝したいです。素敵な経験をありがとうございました。(M.T.)

今年私は用具長として体育祭をむかえました。私は、用具長になって知ったことがあります。それは仲間に頼ることです。

私は用具係のことは、全部自分が知っておきたいという気持ちがあって最初はこの仲間を頼ることが出来ませんでした。体育祭準備がまだ忙しくない時期は、自分が他の係長との話し合いに出たりすれば良かったのですが、1か月前からは全然違いました。その頃になると、話し合いはもちろん、用具の管理や用具をつくること、後輩への指導や質問に答えることなどやるべきことは一気に増えました。

用具の貸出もそのうちの1つでした。貸出は毎日朝と昼行っていて、基本的には用具高2でやるものでした。私は何を誰に貸したのか把握しておきたいと思い、はじめのうちは自分1人でやっていました。1人でやることで貸出してあげる相手にすぐ用具を貸しだせなくて迷惑をかけました。そして1人では頭の中が混乱しました。自分1人でやれるならそれが良いと思っていましたが、周りに迷惑をかけてしまう結果になってしまったことをと



ても後悔しています。途中で高2に頼んでみたときに、皆が「了解！！」と快く引き受けてくれたことが本当に嬉しかったです。それから高2みんなに沢山頼りました。

そしてこれは用具の貸出だけでなく、体育祭直前にもとても感じました。私は上手く仕事をわりふれず、予行練習ではほかの係や先生方、学校全体にまた迷惑をかけてしまいました。分担の大切さを知ったはずなのに再びミスをおかしたことが情けなく、ショックでした。係長というのは自分が仕事を沢山やるというよりは、指示を出すことが大切だと思いました。

しかし、この時も高2みんなと後輩に助けられました。自分一人でやりきれなかった仕事を気づいて代わりにやってくれる高2、頼んだら笑顔で「はい！！」と引き受けてくれる後輩、私が焦っている時に冷静になって向き合ってくれた後輩もいました。

こんなにも皆が用具の仕事を前向きにこなしてくれると思っていたなあと感じました。まずは係長である自分が皆を信じて困った時は頼るべきなのだと思いました。こんなにも大切なことに気づかせてくれた用具係に感謝しています。

そして、同じ「係長」という立場だからこそ気持ちを理解してくれた他の係長と実行委員長、副実行委員長に感謝しています。用具長をやれて本当に良かったです。

(A.M.)

ついに終わってしまった体育祭。一昨日のことなのに、1週間以上前のように感じる。もう昼休みに話し合いをしたり、朝練・放課後練に励んだりすることもないのだと思うと、とても寂しくて、自分のどこか一部が空っぽになった、そんな気がした。最高の思い出になった。

「赤組応援団長」として準備を進めてきたこの1年。去年の体育祭が終わった直後から応援団で集まり始め、初めのほうはゆっくりテーマなどを決めていたけれど、気付いたらもう1か月前だった。直前期にインフルエンザにかかった時は、赤団はじめ周りの人に申し訳なさすぎて、そして体調管理ができなかったのが情けなさすぎて、自分を恨んだ。他にも沢山の迷惑をかけたにも関わらず、温かい言葉をかけてくれて、支えてくれて、最後までついてきてくれた赤団高2には感謝の気持ちしかない。クラスも部活も違って、赤団以外ほぼ関わりがない団員を、こんなにも好きになれるなんて、やっぱり体育祭は最高だ。

競技がある以上、勝ち負けはどうしても気になってしまう。赤組は4位で、正直もの凄く悔しかった。けれども時には目に涙をうかべて悔しがっている様子を見て、赤組の選手皆を誇りに思った。作戦会議に競技練習、本番も全力で戦って負けたのだから、皆には胸を張ってほしい。

閉会式が終わった後、赤組の中1が数人号泣しながら走ってきた。赤組のみんなが懸命に頑張っ



ている姿に心を打たれたらしい。来年絶対応援団に入りたい、とまで言ってくれた。順位は悪くても、少しでも後輩に残せたものがあったのだと思うと、嬉しくて仕方がなかった。

最後になってしまったが、この体育祭の成功は、実行委員はじめ、係生徒、応援団、全色の選手、先生方、この洗足体育祭に関わる全ての方の努力の賜物だと思う。そして、最近親不孝気味でなかなか素直に感謝の気持ちを伝えられていないが、毎朝早くお弁当を作ってくれたり、家で色々な面でサポートしてくれた親へも。本当に本当に本当に、ありがとうございました！！

(S.K.)